

週替わりで一息!!

第2042会 (第53版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

大暑(たいしょ) 梅雨もそろそろ明けて、一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。体力を保つために鰻を食べる「土用の丑」や、花火大会もこの時期たくさん行われ、夏の風物詩が目白押しです。
七十二候で楽しむ日本の暮らしより

次候「七月二七日～八月一日」**土潤溽暑 (つちうるおうてじょくしよす)**
むしあつし35

「土がしめって蒸し暑くなる」熱気がまとわりつく蒸し暑い頃。私たちは、この暑さを打ち水などでしのぐことしかできませんが、木や草花は緑をますます濃くして夏を歓楽しているようです。喉越しよい素麺や冷たい飲み物が実の助けになります。

末候「八月一日～八月六日」**土大雨時行 (たいうときどきおこなう)**

ふる36

「時として大雨が降る」雷が激しく鳴り、土砂降りの夕立や台風などの大雨が降りやすい頃。きれいな青空に湧き上がる入道雲は、夕立を教えてくれます。雷には道真の伝説がありますが、(正しい生き方をしていれば特別な祈りをしなくても神は守ってくれる)は名言。

20年前の主なニュース (1996年7月29日～8月4日福井新聞縮刷版より)

- ・アトランタ大会で日本史上初「有森マラソン銅」。私なら金よと。
- ・O157を伝染病指定 (人権を考え隔離せず限定適用)

「本日7月22日の金曜日」東素人上方落語家～瓢家満月 (ひさごやまんげつ) こと鳴尾健氏～



■福井街角放送株式会社 代表取締役 鳴尾健様の落語を聞かせていただきました。桃太郎の童話を現代風に解釈された内容を落語で表現されました。又十二支の中に隠された鬼門の位置や時刻の意味なども。■



丸岡RC山下会長
表敬訪問挨拶

四つのテストは
この人

職業奉仕36名の就職希望者模擬面接について報告
本日は和室での例会です。ロータリーソングの合唱です。